

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次整備提案書

※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	戸塚に新しい親子の居場所「ひろばカフェ」をつくろう
提案グループ名	特定非営利活動法人こまちぷらす
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	戸塚 区 戸塚 町・丁目
施設整備の概要	<p>戸塚駅西口徒歩7分の場所に、ひろばカフェを整備。(外的要因により、整備場所が当初予定地から632m(徒歩11分)離れた場所に変更)「乳幼児の遊び場、親同士の交流の場が欲しい」という子育て中の母親、「子育てを応援したい」というシニア層、「商店会に賑わいを取り戻したい」という商店会、これらのまちの人々の協働の場として以下の施設を整備する。</p> <p>【整備機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ(キッチン・手洗い・壁一部設置等) ・乳児用キッズスペース ・幼児用遊び場(地域住民と手づくり) ・働く母の工房(ワークショップ、まちづくり企画の打ち合わせ、手仕事等) ・イベントスペース(ホワイトボード壁) ・情報発信スペース(子育て・遊び場・介護の情報等) ・小箱ショップ棚(手づくり品販売) ・事務所・休憩スペース <p>【主な整備内容】 【主な手づくり整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋め込み式エアコン設置 ・キッズスペース ・キッチン設置 ・レンタル棚スペース ・内装(床・壁・可動壁・天井) ・手洗い場設置
整備助成金申請 予定額	500 万円
設計及び整備の スケジュール	4月 工事開始、住民との手づくり整備開始 5月中旬～下旬 オープン

2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<p>① 多世代に見守られる子育て</p> <p>【1次以降の取り組み】9月より近隣のお寺内のスペースを老人デイサービスと共同利用しスタッフのこども(乳幼児)の見守りを実施。4世代上のお年寄りと折り紙や季節の花々の交換をするなどの交流を持つ。</p> <p>【取り組みの結果】頻繁に交流することによって、要支援とされるお年寄り世代、子ども達双方にとって、良い影響を及ぼした。子どもたちにとって学びの場にもなっている。同時に、交流時間の長さや頻度など、考慮すべき課題も捉えられた。</p> <p>【整備への反映】子どもたちが多世代・多様な人に見守られ、注</p>
--	---

	<p>意・褒められるよう工夫。特にシニアボランティアの働きやすい環境整備（休憩スペースの確保等）。既に実験店舗のシフトの2割がシニアボランティアに支えられている。</p> <p>② オープン会議やアンケートを実施</p> <p>【1次以降の取り組み】10月より月に一度、会議を一般に公開。各回5-10人程老若男女が参加、内装レイアウトワークショップ等を実施。実験店舗への来店者等地域の親子にアンケートを実施（現在50枚回収済み）。【取り組みの結果】多世代のかかわりを促すためのキーワード（「美味しいコーヒーと音楽」「役割があること」等）を発見。【整備への反映】ワークショップを機に仲間として参加したいというメンバーも現れ、ワーキンググループとして始動予定。ワークショップで出た意見をレイアウト等にも反映。</p>
<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p>	<p>こどもたちの「夢」を詰め込んだキッズスペースづくり</p> <p>「戸塚のまちにつくりたいもの」こどもたちから120人のアンケートを回収。12月末にこどもたちとキッズスペースづくりワークショップを予定。【整備への反映】ワークショップの結果を反映し、プレイパーク関係者や地域住民とともにキッズスペースづくりを実施。こどもたちが「家族とまた行きたい」と思う場所にする。パパたちとの棚づくりを通して活躍の場をつくり、パパたちのまちへの関心をもつきっかけをつくる。地域住民、商店会の方に協力を得てスペースづくりも実施。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営^{注5)}計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p><small>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</small></p>	<p>特定非営利活動法人こまちぷらすが実験店舗を踏まえ、運営を実施。運営スタッフ4人×週3-4日に加えて、登録している母親&シニアボランティアスタッフ（現在40名程）でシフトを組み運営。</p> <p>工夫①小さい子供がいる母親でも働ける場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子供がいるスタッフが多いため、時間が短く病時でも代わられるようワークシェア。 ・乳幼児の母親／幼稚園・小学生の母親／高校・大学生の母親／シニアの方等、シフトに入れる時間帯が子供の年齢等によって異なるため、入れる時間を組み合わせシフトを組む。 <p>工夫②スペース貸し&惣菜・菓子販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、料理教室、打ち合わせ等にイベントスペースを貸し出し。週1（1回2時間）×4回の月極め利用で、月々2万円で貸し出すことで維持費を確保。現時点で2枠は確定。今後10枠全て埋めることを目標にする。商店会の打ち合わせ等の利用も提案（提案済み、必要設備や開催時間等についてヒアリング済み）。 ・惣菜・お菓子を販売することにより、どの世代でも「ふらっと寄る」きっかけをつくと同時に維持費を確保。

3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<p>※ほのぼの商和会：副会長が11月28日オープン会議に出席、全面的な応援をすとお話をいただく。</p> <p>※自治会：町内会長から了承を得る。</p> <p>※近隣住民：隣の不動産会社へは説明済み。今後同ビル内テナント等近隣住民へは商店会副会長とともに説明予定。</p>
--	--

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>「相互支援を育む場」 アンケート等結果、「室内に遊び場所がない」「おじいちゃんおばあちゃん世代、ちょっと先輩ママと交流を深めたい」という意見が多数集まる。また、「不安だらけの子育てがここへ来て、楽しくなりました。」など声も集まる。 母親同士のほか、また世代間で支えあう、「相互支援を育む場」として機能することにより、まちづくりへの関心や参加のきっかけをつくる。また、シニア男性による小学生の理科教室等、「ありがとう」といってもらえる機会をつくることで、継続的に支えあい、共に孤立しないまちにする。</p>
--	--

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施行業者への発注方法など)</p>	<p>端材・物資入手にむけて調整中。(端材等を建具づくり等に利用) 個人寄付に加えて協賛金の呼びかけ(現在2社と調整中) 1年以上空いている空き店舗を利用。壁やトイレ、床上げなどある程度必要設備が整っている店舗を見つけたことにより、設備投資大幅に削減し、可変性のある空間利用に費用をかけられるようになった。(削減効果：床上げ想定費用100万円、トイレ設置20万円程)</p>
--	--

6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>【商店会】H25年初の区役所移転による3000人の商店会利用人数減(想定)を受けて、大きなダメージを受けている。商店会に賑わいを戻せるよう、商店会子連れマップ作成等企画をともに考える。 【小学校】小学校の目の前に位置する。小学校PTA等との連携や小学生の放課後子どもたちが立ち寄る場所としての活用を考える。 【幼稚園・保育園】近隣保育園等の園庭開放を未就園のスタッフのこどもたちの遊び場として利用、その報告をひろばカフェで掲示、新しい子育ての形としてひろばカフェを活用してもらうなど連携を深める。 【自治会】地域回覧板への情報発信等連携を深める。 【企業】協賛等をとおしてまちづくりの参加を促す。 【シニア層】ひろばカフェでのボランティアをきっかけにシニア層同士、また、世代を超えた交流の機会となる。 【子育て層】遊ぶ・食べる・交流する機会をつくることで孤立しないよう環境をつくり、同時に参画するきっかけをつくりまちづくりへの関心を高める。</p>
---	---

7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>私たちは実験店舗の運営を通して、まちの多世代多様なプレーヤーの力が必要だということがわかりました。「必要」だからネットワークができ、継続的な協働ができると考えています。この「ひろばカフェ」で協働のきっかけをつくり、私たちは戸塚から孤立した子育てをなくし、誰もが生き生きと暮らせるまちにします。</p>
-------------------------------------	---

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報含まれていません。

ヨコハマ市民まち普請事業

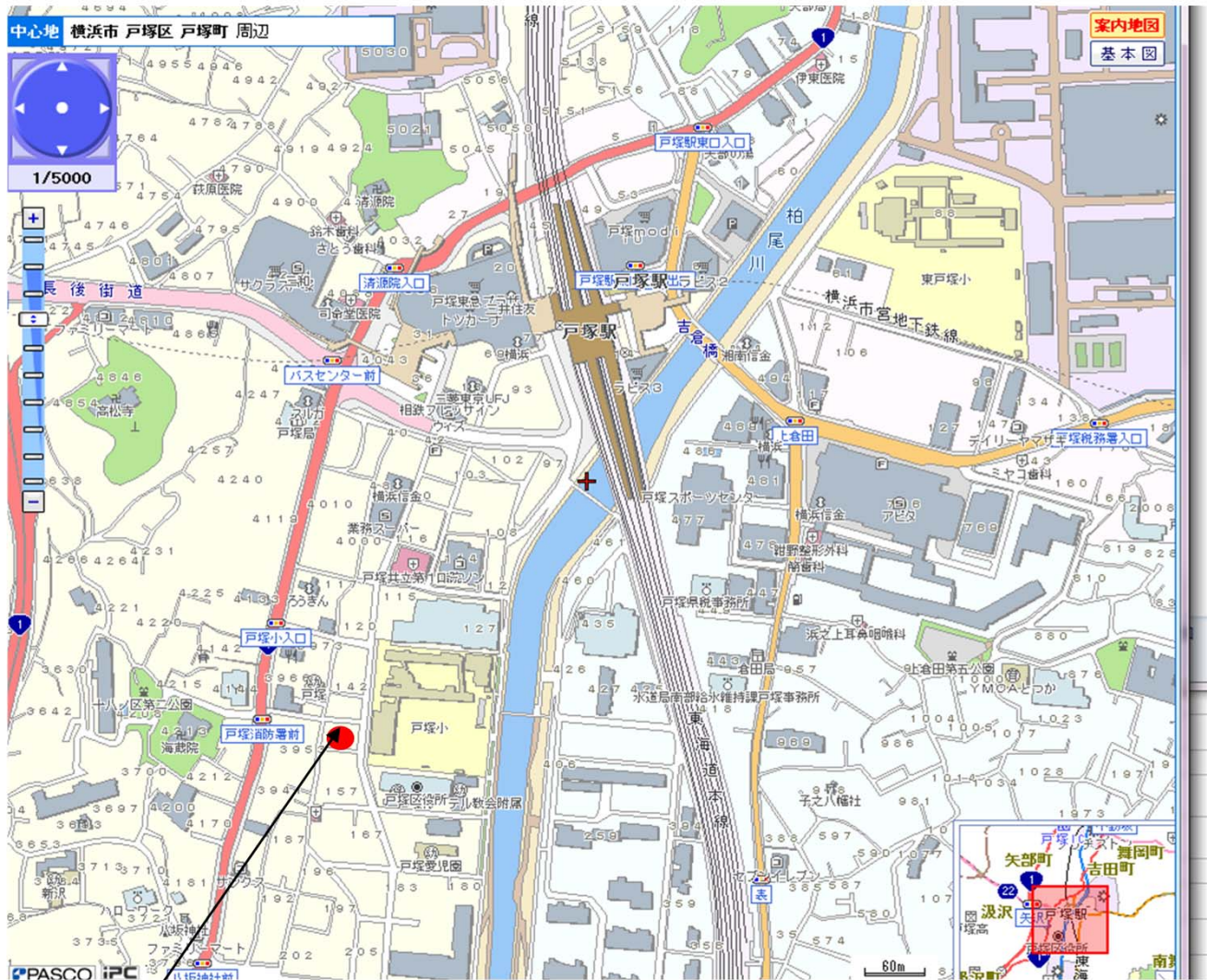
想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

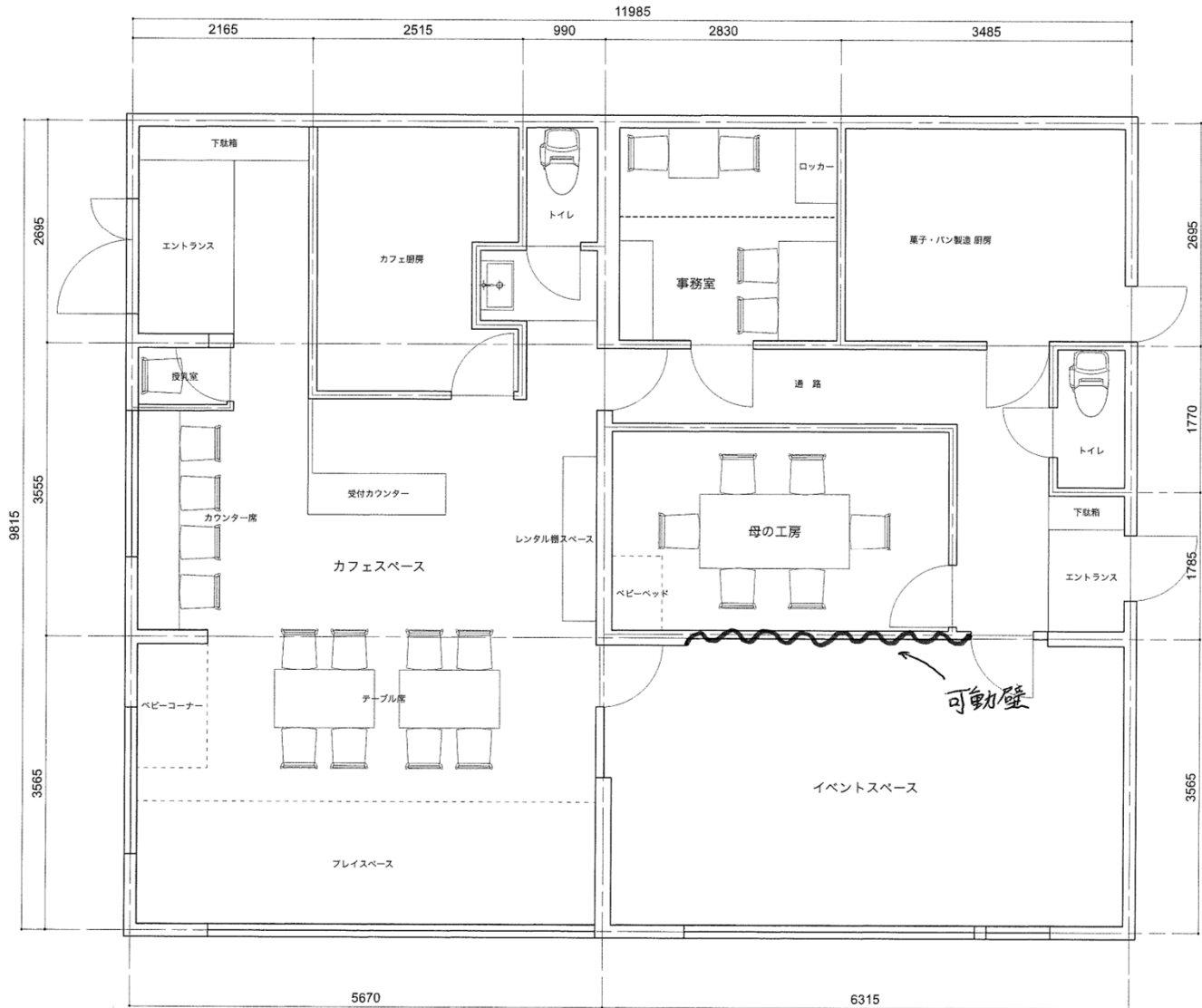
- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
仮設工事	墨出し 搬入出費	1式	¥350,000	¥350,000	
建具工事	開き戸	1式	¥430,000	¥430,000	キッズスペースは地域の小学生・幼稚園生たちが設計づくりから参加予定。
什器工事	受付カウンター	1式	¥270,000	¥270,000	他棚類はシニア・パパたちとともに作成
塗装工事	天井・壁塗装	1式	¥840,000	¥840,000	
内装仕上工事	床材・材工 洗面シート	1式	¥930,000	¥930,000	
電気・換気設備工事	照明・防災設備	1式	¥435,000	¥435,000	
空調設備工事	埋込エアコン 換気扇	1式	¥520,000	¥520,000	
給排水設備工事	キッチン トイレ 配管・器具工事	1式	¥1,000,000	¥1,000,000	
工事価格合計			¥4,775,000	¥4,775,000	
消費税		8%	¥382,000	¥382,000	
合 計				¥5,157,000	

位置図



物件



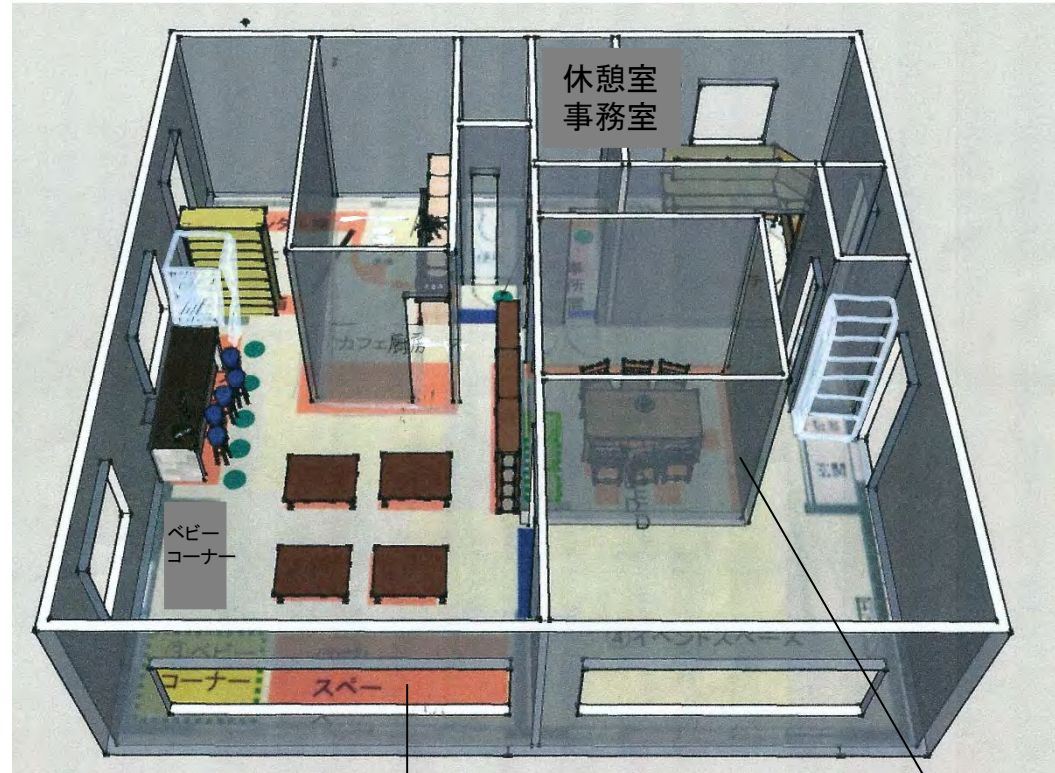
概ね 1/50

2013.12.4.

平面図

BeatHOUSE
いままでにないワクワクを！

■完成予想図(イメージ)



入り口からのアングル



こどもたちデザインの キッズスペース

プレイパークの方と
ともに「ダンボールで夢の遊び場を
つくろう」を12月末に実施予定。
そのこどもたちの「夢」をベースに
地域の皆様とともに作成予定。

可動壁



現況図

■H25年9月からの取り組み

①お寺とのコラボ「懐かしい未来」

9月1日より、スタッフのこどもたちがカフェ内の狭いスペースでストレスをためないよう、地域のお寺がご好意で場所を貸して下さることに。

こどもたちは毎日のびのびとお寺や近隣公園にてスタッフ&ボランティアが見守る中遊ぶことができるようになりました。

小さい子供がいても働ける環境、、、その答えは「地域」にありました。



③多世代の支え

シニア層のボランティアの強化。区民活動センターや区社協、子育て支援拠点などの協力を得て、シニアの方々のご紹介をいただく。カフェのシフトの2割がシニアボランティアの皆様によって、支えられている。20代から70代まで各年代が互いに支えあう体制ができあがりました。

●シニアの男性も週1で活躍中●



●近くの公園にお散歩●



②4世代間交流

お寺併設のデイサービス「還る家ともに」とのコラボを開始。こどもたちにとっては、ほとんど交流したことがない「ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃん世代」。

●一緒に折り紙！●

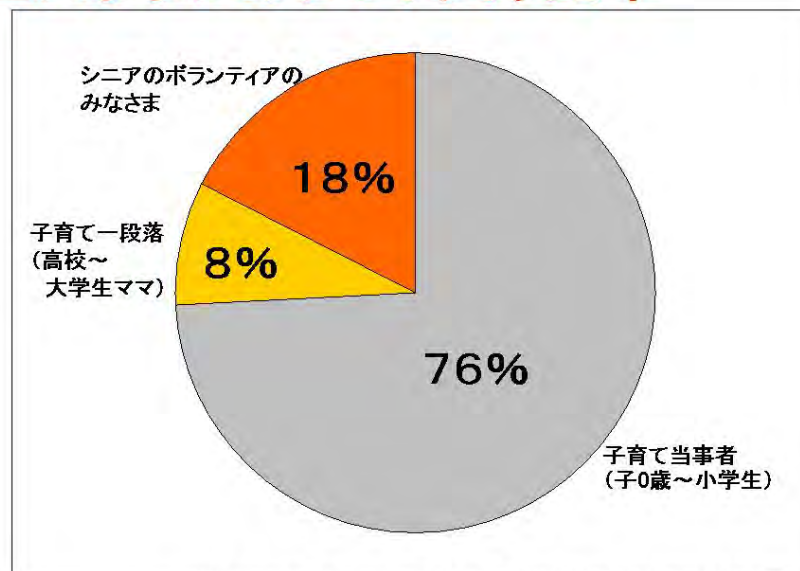
折り紙交換、紙芝居を読んだり、季節の花々をみせあつたりと毎日30分～1時間交流を実施。「おばあちゃんにこれあげるの！！」と折り紙を自宅から楽しみにもってくるスタッフ子供も。



●↑季節の草花の交換中●



■スタッフのシフト入り比率



120シフトコマ数/1ヶ月、スタッフ人数(当32名、大4名、V8名 計:44)

■他取り組み

実験店舗にて近隣商店や活躍する地域のママたちと連携して毎月10件以上のイベントを実施。

12月
こまちカフェの
「こまちひろば」
月～金 14:30～16:00時
こまちカフェをひろびろとして開催します！
(入場料 200円親子1組)
ママも子どもも楽しいイベントがたくさん！
是非遊びにいらしてくださいね♪

イベントスケジュール (※お盆期間を除く)

日	月	日	月	日	月
12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6
12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12
12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18
12/19	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24
12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30
12/31					

●一ヶ月のイベントカレンダー
ほぼ毎日イベント実施●

●参加者同士で → 絵本の読み聞かせ●



●↓地域の先輩ママによるベビーマッサージ●

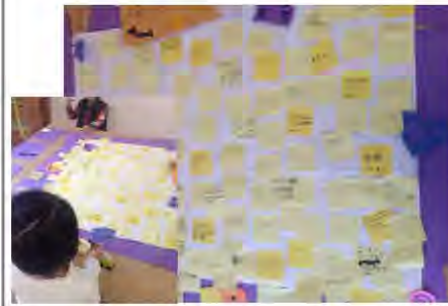


●地元写真屋さんによるカメラ講習会！●



■他取り組み

10月19日遊山箱イベント
130人のこどもたちの声を集める。



まち普請にむけて、HPも充実！



近隣住民親子を中心にアンケートも実施。50枚回収。

(一部抜粋)
「不安だらけの子育てが、ここ(実験店舗)へ来て楽しくなりました。リフレッシュできるし、ママ達との交流で色々学ぶことができました」

「親戚のおうちに来たような雰囲気です。」

「子どもとママの笑顔、いやしがいっぱいこのこまちカフェ
お手伝いをさせてください！」

「戸塚駅周辺で小さな子が遊べるスペースがないので、そういう場を作ってもらえると助かります」

「ここで働けたら幸せ！」

■オープン会議の開催①10月25日

第一回とつかに「ひろばカフェをつくろう」オープン会議を開催。
地域にひらいた、住民にひらいた議論を目指す。
「こんな機能があったら『私』はいきたい」がテーマ
『私』が70代だったら？『私』が男性だったら？と立場を変えて意見交換も。
様々な地域の方に来ていただける工夫を議論。



参加者からでてきた主な「キーワード」

○もの
お惣菜販売
レコードコレクション
絵本コーナー
ミンが置いてある(手づくり材料も置いてある)

○工夫
「コーヒー と 音楽 と 本」(多年齢が集えるきか(け)が必要)
小学校高学年の対策(不登校など、ちょっと先輩おにいさんおねえさんがいること)
役割がある(リタイアした方々に、ありがとうと言って貰える工夫)

○イベント
映画会
農学・料理教室・地場産野菜販売
飲み会(パパたち)

■オープン会議の開催②11月26日

第二回とつかに「ひろばカフェをつくろう」オープン会議を開催。12名で議論。
ほのぼの商和会副会長や地域のパパも参加し、模型づくりワークショップ。
この会議ででてた意見を図面に反映。
自分も同じように「ひろばカフェ」をひらきたいと夢見る参加者も参加。

